

# 当別町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

当別町は札幌市と境界を接し、札幌中心部から約15～25kmに位置しており、275号と337号の2つの国道がある。農業を基幹産業とし、米、麦などの穀物類のほか、切り花生産も盛んである。札幌中心部へはJR学園都市線を使うと約40分と通勤圏内である。また、JR石狩当別駅とJR石狩太美駅を中心とした市街地が2か所存在している。もともと公共交通機関がなかったこともあり、自家用車に頼らざるを得ない生活環境となっていた。町の高齢化率は、約23%となっている。

## 当別町生活交通ネットワーク計画の目標・効果

平成18年度より行ってきたコミュニティバスの実証運行で住民に根付いてきたバスシステムを維持し、交通弱者である子どもや高齢者の移動手段を確保することで、住民の住環境の向上、高齢者の行動範囲拡大による健康増進を図る。

### 目標

1日当たりの利用者数をH23実績以上とする

市街地循環線(昇順)	10.8人/日
市街地循環線(降順)	10.2人/日
青山線	40.3人/日

運行経費に対する収入の割合をH23実績以上とする

市街地循環線(昇順)	12.2%
市街地循環線(降順)	11.8%
青山線	20.0%

## 平成25年度事業概要

1 市街地循環線(昇順)	JR石狩当別駅南口～春日町～JR石狩当別駅南口	運行計画日数245日	計画運行回数1,470回
2 市街地循環線(降順)	JR石狩当別駅南口～栄町～JR石狩当別駅南口	運行計画日数245日	計画運行回数1,470回
3 青山線	JR石狩当別駅南口～とうべつ整形外科～青山会館	運行計画日数364日	計画運行計画2,279回

## 地域公共交通の現況

- ・JR学園都市線  
主な駅:石狩当別駅、石狩太美駅
- ・(有)下段モータース  
当江線(当別町～江別市)  
当別ふれあいバス  
主な路線:あいの里金沢線、市街地循環線、青山線

## 当別町地域公共交通活性化協議会開催状況

- 平成24年6月27日 第1回協議会開催  
主な協議事項:地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
- 平成24年9月20日 第2回協議会開催  
主な協議事項:平成24年10月27日ダイヤ改正及び路線の変更について
- 平成25年2月20日 第3回協議会開催  
主な協議事項:平成25年4月1日ダイヤ改正について

# 平成25年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

地域住民に公共交通の利用状況、普段の移動手段、交通に関する一般的な意識について問うアンケートを実施し、普段の移動を再認識させ、公共交通利用への可能性を意識させる。

## 2) 運行ルート



## 3) 利用実績

年度(月別)	乗車(降車)	旧来の重宝区線		新宝区線		新宝区線		新宝区線		新宝区線		旧宝区線		旧宝区線		計	運行日数					
		乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車									
10月	129人	157人	4,940人	4,542人	689人							1,491人	2,370人	4,369人	2,971人	1,772人	89人 577人	9,311人	19日			
11月	21人 15人	88人	851人	1,113人	146人	28人 88人	411人	277人	375人	28人 346人	113人	1,451人	2,370人	4,369人	2,971人	1,772人	89人 577人	1,385人	19日			
12月	147人	186人	4,844人	5,193人	779人	146人	28人 88人	411人	277人	375人	28人 346人	113人	1,451人	2,370人	4,369人	2,971人	1,772人	89人 577人	10,919人	22日		
1月	258人	185人	4,766人	5,382人	871人	1,182人	350人	5,789人	3,262人	2,477人	2,671人	322人	2,935人	870人					11,494人	21日		
2月	279人	217人	4,894人	3,915人	851人	1,155人	372人	5,801人	3,971人	2,594人	1,771人	282人	1,580人	856人					10,245人	19日		
3月	231人	198人	5,082人	4,115人	777人	1,083人	242人	5,794人	3,803人	2,191人	2,021人	340人	1,482人	773人					10,365人	19日		
4月																			0人	0日		
5月																			0人	0日		
計	911人	727人	19,496人	18,805人	3,285人	3,822人	882人	17,852人	10,873人	6,976人	7,045人	953人	6,982人	2,615人	1,451人	2,370人	4,369人	2,971人	1,772人	89人 577人	43,024人	81日
平均	11.2人/日	8.8人/日	246.7人/日	228人/日	40.8人/日	46.8人/日	10.8人/日	227.9人/日	134.4人/日	112.6人/日	113.6人/日	15.8人/日	88.2人/日	40.2人/日	74.4人/日	148.8人/日	228人/日	106.7人/日	83.8人/日	47.2人/日	48.4人/日	50.2人/日
本数	6日	6日	30日	24日	18日	11日	4日	18日	18日	19日	9日	3日	3日	18日	12日	10日	18日	18日	14日	4日	1日	6日
平均	1.9人/日	1.5人/日	7.3人/日	9.6人/日	2.5人/日	5.3人/日	4.0人/日	16.0人/日	8.7人/日	7.5人/日	22.7人/日	3.1人/日	19.7人/日	2.6人/日	6.4人/日	14.6人/日	14.4人/日	8.5人/日	6.7人/日	12人/日	2.5人/日	8.0人/日

年度(月別)	土曜・日曜・休日				合計		
	旧宝区線+	新宝区線	青山線	小計	運行日数	乗車数	
10月	452人			452人	7日	10,057人	26日
11月	115人	115人	45人	70人	16日	1,519人	9日
12月	967人	115人	45人	70人	9日	11,576人	31日
1月	845人	845人	280人	385人	9日	12,229人	30日
2月	1,094人	1,094人	492人	602人	12日	11,485人	31日
3月	870人	870人	304人	568人	11日	11,250人	30日
4月						0人	0日
5月						0人	0日
計	3,176人	2,724人	1,121人	1,603人	45日	46,650人	122日
平均	77.9人/日	80.1人/日	33.8人/日	47.1人/日	11.0人/日	89.4人/日	-
本数	22日	22日	8日	10日	22日	8日	28日
平均	3.5人/日	3.6人/日	5.5人/日	2.9人/日	2.9人/日	-	-

## 4) 収入実績

年度(月別)	一般				小中学生・高校生・障がい者・介護人					応援券 売上枚数 合計	応援券 売上金額*	
	1ヶ月 (4,000円)	3ヶ月 (10,000円)	6ヶ月 (16,000円)	小計	1ヶ月 (2,000円)	3ヶ月 (5,000円)	6ヶ月 (8,000円)	限定小学生 (500円)	限定中学生 (1,000円)			
10月	13枚	2枚	22枚	37枚	8枚	2枚	13枚	0枚	0枚	23枚	60枚	548,000円
11月	11枚	5枚	6枚	22枚	13枚	4枚	3枚	0枚	0枚	20枚	42枚	255,800円
12月	9枚	4枚	2枚	15枚	10枚	3枚	2枚	18枚	4枚	37枚	52枚	166,800円
1月	9枚	3枚	5枚	17枚	10枚	2枚	3枚	3枚	0枚	18枚	35枚	198,000円
2月				0枚						0枚	0枚	0円
3月				0枚						0枚	0枚	0円
合計	42枚	14枚	35枚	91枚	41枚	11枚	21枚	21枚	4枚	98枚	189枚	1,168,600円

回数券	回数券		一日乗車券		運賃収入	収入合計
	200円 (2,000円)	100円 (2,000円)	大人 (500円)	小人 (300円)		
112冊	5冊	234,000円	9枚	1枚	4,800円	271,800円
133冊	11冊	288,000円	2枚	1枚	1,300円	300,300円
146冊	5冊	302,000円	4枚	0枚	2,000円	380,500円
128冊	9冊	274,000円	3枚	1枚	1,800円	331,000円
		0円			0円	0円
		0円			0円	0円
519冊	30冊	1,098,000円	18枚	3枚	9,900円	1,263,600円

## 5) 事業実施の適切性

- 1 市街地循環線(昇順)  
評価A 事業はおおむね適切に実施されている。
- 2 市街地循環線(降順)  
評価A 事業はおおむね適切に実施されている。
- 3 青山線  
評価A 事業はおおむね適切に実施されている。

## 6) 目標・効果達成状況

- 1 市街地循環線(昇順)  
評価A 利用者数 目標10.8人/日 実績11.3人/日  
運行経費に対する収入の割合 目標 12.2% 実績15.1%
- 2 市街地循環線(降順)  
評価A 利用者数 目標10.2人/日 実績8.98人/日  
運行経費に対する収入の割合 目標 11.8% 実績12.1%  
※利用者数について、大雪の影響で現在達成できていないが、達成できる見通しである。
- 3 青山線  
評価C 利用者数 目標40.3人/日 実績30.6人/日  
運行経費に対する収入の割合 目標 20.0% 実績15.5%  
地域住民の人口が横ばいの中、高齢化による影響もあり  
目標達成に至っていない。

## 7) 事業の今後の改善点

- 1 市街地循環線(昇順)  
時刻表を全戸に配布するとともに、路線沿線の町内会・高齢者クラブなどに出前講座を行い、バスのPR・利用促進に努める。
- 2 市街地循環線(降順)  
時刻表を全戸に配布するとともに、路線沿線の町内会・高齢者クラブなどに出前講座を行い、バスのPR・利用促進に努める。
- 3 青山線  
時刻表を全戸に配布するとともに、路線沿線の町内会・高齢者クラブなどに出前講座を行い、バスのPR・利用促進に努める。  
また、幹線沿線であるあいの里金沢線のダイヤを改正し、幹線路線との接続を良くし、利便性を向上させる。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。  
市街地循環線については、昨年度の指摘を踏まえ、出前講座等による利用促進策が実った形と言え、大いに評価できる。引き続き、更なる本系統のPRを強化等により、持続可能な事業となることを期待する。  
一方青山線については、現状の実績を踏まえた適切な目標の再設定を行うとともに、石狩当別駅におけるあいの里金沢線との接続を改善するなど当該フィーダー系統の利便性向上が図られることを期待したい。